

意見書

1. 事前打合せでも述べたが、総合的な市場創設に対する意見を再度述べたい。
2. 新規創業の観点からは、大証ジャスダック、東証マザーズなど複数の新興企業向けの市場があることにより、ベンチャー企業にとっては上場のチャンスが増えたという事実がある。
3. しかし、東証と大証の統合により、マザーズやヘラクレス(ジャスダックと統合済み)といった新興企業向け市場の統合も予定されており、ベンチャー企業からは競争原理が失われ、上場の機会が減ることや、保守的な上場基準により証券市場の活性化が阻害されるとの意見が多く出ている。
4. 事実、旧ヘラクレスができる前は、そのような状況にあったことが、指摘されている。
5. そのような競争原理が市場を活性化させる視点からみれば、日本の取引所を総合化することが、ベンチャービジネスにとって有益であるかについて、基本的な疑問がある。
6. 単なる総合的な取引所がビジネスに有用であるという観点だけでなく、穀物や石油の取引のリスクヘッジのための商品取引所、ベンチャー企業の上場を後押しする新興企業向けの市場、大手企業を含む資金調達のための証券取引所、FXなどのデイトレーダー向けの金融取引所などが、それぞれ国際的な競争力をもてるようにする議論を行うことが重要ではないだろうか？

以上、総合的な取引所について、ベンチャー企業や関連企業からの広範囲な意見聴取を更に続けた上で、あるべき姿の議論が必要であると考える。

大阪大学 森下竜一